

## VII 地域教育研究センター

地域教育研究センターは、本学が、社会に貢献する大学として、地域コミュニティに根ざし、また、未来を拓く「知の拠点」としての役割の強化並びに本学の教育理念である「地域社会志向教育」を実現するために、平成24年4月に活動を開始した。令和4年には設立10年を迎えた。

1. 地域教育研究センターは、中山間対策など高知県や地域が抱える現状や課題、ニーズを把握し、県・市町村や地域の諸組織、本学卒業生などとともに本学との協働体制を構築し、機能させる仕組みづくりを行い、全学体制で課題解決に取り組む。
2. 地域課題に関する情報を入手できる環境を整備し、学生が主体的に行動できるよう、プログラムや支援体制を充実させる。
3. 公開講座、県民開放授業、履修証明プログラム、科目等履修生制度等を活用し、県民が学び続けることのできる生涯学習プログラムを構築し、実施する。
4. 専門職者を対象とする研修会やリカレント教育を実施し、最新の知識や高度な技術を伝え、専門職者の力量アップを支援する。
5. 地域の教育機関や行政等との連携を図り、共同事業等を通じて、児童や生徒の学問に対する興味や関心を高めるための公開講座や出前講座等の学習支援活動を実施する。

### <事業実施状況>

#### 【履修証明プログラム】

平成26年度から「履修証明プログラム」を開始している。  
昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、募集中止となった。

#### 【高知県立大学県民開放授業】

県民開放授業は、平成14年度後期から、文化学部の公開講座の一つとして始まった。平成25年度には、地域教育研究センターが「AERU県民公開授業」を開始した。平成26年度からは、上記2つの事業を統合し、「高知県立大学県民開放授業」を実施している。  
昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、募集中止となった。

#### 【高大連携事業】

##### (1) 小・中・高等学校への出前講座

学問に対する興味・関心を高め、大学で学ぶことの魅力や楽しさについて知っていただくことを目的に、高知県内の小・中・高等学校の児童、生徒を対象に、出前講座を実施している。12(1件開催中止)校から要請を受け、派遣した教員数は15人、延べ受講者数396人であった。

No.	学校名	実施日	対象者	テーマ	受講者数 (人)
1	大川村立大川小・中学校	令和4年9月1日	中学2年	地域福祉のおもしろさ:住民主体の幸せのまち・むらづくり	6
2	高知県立室戸高等学校 (定時制)	令和4年10月12日	高校生 地域の方	巨大地震に備え今すべき食料備蓄	16
3	高知県立室戸高等学校 (定時制)	令和4年10月19日	高校生 地域の方	ニセ科学と科学リテラシー	15
4	高知県立安芸高等高校	令和4年10月20日	高校1年 高校2年	生活の中の法律 看護を学ぶということ/看護の専門性 それってほんとに「できない」の?:発達障がい者支援が教えるヒント 食物アレルギー ～一生食べられないの?～	152
5	高知学芸中学・高等学校	令和4年10月21日	中学3年 高校1年	看護学について	75
6	宿毛市立橋上小学校	令和4年10月23日	全学年 保護者	子どもの健康とヘルスリテラシー	26
7	高知市立鏡中学校	令和4年10月24日	全学年	飲み水の作り方	28

No.	学校名	実施日	対象者	テーマ	受講者数 (人)
8	高知県立春野高等学校	令和4年10月28日	高校2年	われわれはなぜ「読む」のか、「学ぶ」のか？	27
9	高知県立山田高等学校	令和4年10月31日	高校3年	生活の中の法律	18
10	高知県立室戸高等学校 (定時制)	令和4年11月2日	高校生	心の健康	8
11	高知県立窪川高等学校	中止	高校生	若者言葉と土佐ことば	-
12	高知県立宿毛高等学校	令和4年12月19日	高校生	地域で活躍する若者たち 看護の仕事	25

## (2) 高校生のための公開講座

高校生が、大学の教育・研究に触れ、学問に対する興味・関心を深め、学びの楽しさについて知っていただくことを目的に実施している。全4回開催し、延べ受講者数175人であった。

	実施日	テーマ	対象者	受講者数 (人)
県 大 立 志 塾 2 0 2 2	令和4年6月19日	海洋プラスチックはどこから、そして、どこへ	高校生	53
	令和4年9月11日	摂食・嚥下障害とその栄養管理～摂食・嚥下機能に合わせた食事について～	高校生	36
	令和4年12月11日	有権者になっても選挙に行かない人は多いのか：低投票率の問題と対策	高校生	25
	令和5年2月5日	日本一の健康長寿県構想の実現に向けた高知県の課題～医療と介護の一体的な改革にむけて～	高校生	61

## 【「知の拠点」としての多様な生涯学習の機会の提供】

地域の人々の知の探究を支援する事業の展開及び地域の教育力向上のための活動を行っている。

### 1. 公開講座

#### (1) 県民大学公開講座

「知の拠点」として、県民を対象とした公開講座を随時開催している。YouTubeを利用したオンラインで開催した。延べ受講者数386人。

	テーマ	実施日	対象者	受講者数 (人)
豊 か な 暮 ら し に つ な が る 学 び	① 楽しく学ぶ異文化理解	令和4年7月19日-7月25日	県民他	53
	② 豊かな暮らしとはなにか ―陶淵明の詩文から考える―	令和4年7月26日-8月1日	県民他	43
	③ 災害におけるリスク・コミュニケーション	令和4年8月2日-8月8日	県民他	61
	④ 地域で権利擁護を支える仕組み ―市民後見人を中心に―	令和4年8月9日-8月15日	県民他	50
	⑤ 「ケアする経験」から学ぶ	令和5年1月17日-1月23日	県民他	37
	⑥ 地域との関わりで育つ学生たち ―高知県から何を学んだか―	令和5年1月24日-1月30日	県民他	44
	⑦ こころ健やかに暮らすために	令和5年1月31日-2月6日	県民他	53
	⑧ 海洋プラスチックゴミはどこから、そして、どこへ	令和5年2月7日-2月13日	県民他	45

(2) 第39回本山町・高知県立大学公開講座「夜學」

本山町と本山町老人クラブ連合会、本学の3者で公開講座協定書を締結し、10回の公開講座を行った。受講者延べ199人、7講座以上受講した方に、修了証書を発行した。

No.	公開講座「夜學」講座内容	実施日	対象者	受講者数 (人)
1	再発見ゼヨ!!土佐ことば	令和4年5月19日	本山町民他	24
2	知ってびっくり!意外に知らない土佐の食材にまつわる雑学	令和4年6月13日	本山町民他	23
3	認知症を知り、地域づくりをはじめよう	令和4年7月1日	本山町民他	24
4	ロコモティブシンドローム	令和4年7月20日	本山町民他	22
5	おうちで毎日「健康体操」～体操を日常に取り入れて、転びにくくなる身体をつくっていきましょう!～	令和4年9月7日	本山町民他	27
6	終活、人生会議	令和4年9月16日	本山町民他	20
7	公開講座 「中山間地域の持続可能な『健幸づくり』に向けた小さな拠点のあり方を考える」 (地域教育研究センター設立10周年記念地域活性化シンポジウムに参加)	令和4年10月29日	本山町民他	11
8	福祉と介護の仕事	令和4年10月21日	本山町民他	15
9	農福連携による地域活性化	令和4年11月1日	本山町民他	15
10	自己って何だろう	令和4年12月22日	本山町民他	18

(3) 安芸市シルバー短期大学

安芸市と本学との包括連携協定に基づく連携事業の一つとして、安芸市社会福祉協議会が開催している「安芸シルバー短期大学」に本学教員が講師として登壇した。

No.	テーマ	実施日	対象者	受講者数 (人)
1	あなたの地域を元気にするためのまちづくり	令和4年5月27日	安芸市民他	25
2	食品の安全確保の必要性と理由	令和4年6月24日	安芸市民他	25
3	「土佐ことば」で生き生きゾネ!!	令和4年11月25日	安芸市民他	25
4	健康寿命を延ばすために	令和5年1月27日	安芸市民他	22

(4) 地域教育研究センター設立10周年記念地域活性化シンポジウム

10年の歩みを振り返るとともに、高知県立大学の域学共生を推進し、さらなる充実を期して地域活性化シンポジウムを開催した。

テーマ:「中山間地域の持続可能な『健幸づくり』に向けた小さな拠点のあり方を考える」

日 時: 令和4年10月29日(土)14:00～17:00

場 所: 永国寺キャンパスA105講義室

開催方法: 対面、Zoomによるオンラインライブ配信のハイブリッド開催

参加者数: 156人

第一部 基調講演

「過疎地域の地域づくりにおける大学の役割 ー東洋大学能登ゼミの経験からー」

東洋大学副学長 国際教育センター長 国際学部教授

高橋 一男 氏

第二部 パネルディスカッション

事例報告

(1)「集落活動センターの10年の軌跡」

高知県中山間振興・交通部中山間地域対策課長 安藤 優 氏

(2)「中山間地域の持続可能な地域づくり ～集落の再生からコミュニティネットワークによるまちづくりに挑戦～」

農村交流施設「森の巣箱」施設長 大崎 登 氏

(3)「フレイル予防を基軸とした持続可能なまちづくり ～仁淀川町ハツラツツ～」

NPO法人フレイルサポート仁淀川理事 小松 仁視 氏

(4)「学生が変わる・地域が変わる ～中山間地域における域学共生と小さな拠点～」

高知県立大学社会福祉学部教授 田中 きよむ 氏

コーディネーター: 高知県立大学地域教育研究センター講師 秋谷 公博 氏

【「県民大学」学生プロジェクト 立志社中】

平成25年度から、地域の課題解決に主体的に取り組む学生を大学として支援する「立志社中」をスタートさせた。10年目となる令和4年度は、7プロジェクト、194人の学生が地域活動に参画した。「立志のたまご」は、次年度に「立志社中」の新プロジェクトとして申請することを目指し、その準備期間として大学が立ち上げを支援した。

(1) 令和4年度採択プロジェクト「立志社中」

No.	プロジェクト名	チーム名	活動エリア	参加学生数(人)	交付額(利息含) [執行額]
1	「みんなのたいこ岩」プロジェクト	活輝創生実行委員会	佐川町	22	163,560円 [11,233円]
2	伝統と発展ー中土佐町の風景の復元と民具の活用ー	from ZERO	中土佐町	7	200,000円 [8,407円]
3	健援隊 Smileプロジェクト	健援隊	高知市、香美市	29	70,000円 [49,288円]
4	池地域まるごとサロン活動「池地域Reはじめまして活動」	いけいけサロン活動	高知市	20	80,000円 [66,620円]
5	住民と学生による持続可能な地域づくり	Pシスターズ	高知市、安芸市、三原村、仁淀川町	42	154,965円 [81,709円]
6	～「学生」が変わる～、～「地域」が変わる～	かんきもん	高知市、安芸市、土佐市、四万十市	70	71,976円 [31,271円]
7	【立志のたまご】 高知で一番元気なまちづくり	おおとよ探検隊	大豊町	4	49,246円 [20,840円]

## (2)その他の活動

No.	事業名等	テーマ等	概要
1	プレゼンテーション及び審査会	【立志社中】プレゼンテーション及び審査会 日時:令和4年5月22日	応募のあった6件のプロジェクトについて、プレゼンテーション及び審査会を実施し、採択プロジェクトを決定した。
2	面接及び審査会	【立志のたまご】審査会 日時:令和4年6月19日	応募のあった1件のプロジェクトについて、面接及び審査会を実施し、採択プロジェクトを決定した。
3	第1回スキルアップセミナー	テーマ:「高知県の中山間地域の現状～10年ぶりの集落実態調査～」 日 時:令和4年7月22日-8月31日 講 師:高知県中山間振興・交通部中山間地域対策課 課長 安藤 優 氏	本学の授業「地域学概論」にゲストスピーカーとしてお越しいただき、「集落実態調査」の調査結果についてのご講演を録画し、後日、立志社中及び立志のたまごの学生が動画を聴講した。
4	第2回スキルアップセミナー	テーマ:「『これやりたい!』を語り合うワークショップ」 日 時:令和5年1月13日 講 師:株式会社 わらびの 代表取締役 畠中 智子 氏	地域活動についての思い、今後の活動プランについて、グループ混合やチームでのワークショップを実施した。23人の学生が参加し、意見を出し合った。
5	活動成果報告会	【立志社中及び立志のたまご】活動成果報告会 日時:令和5年3月5日	各プロジェクトの活動を報告・評価し、成果や課題を共有することを目的として開催した。

## 【令和4年度全国公立大学学生大会 LINKtopos2022への参加】

10回目を迎える本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの対面開催となった。全国23の公立大学から約120人の学生・教職員が参加した。本学からは立志社中グループ等から学生3人、職員1人が参加し、全国の公立大学の学生・教職員と交流した。

テーマ : 「ReStart」

日 時 : 令和4年8月31日(水)～9月2日(金)

場 所 : 福知山公立大学

## 【コミュニティサービスラーニング(CSL)サポートデスク】

地域の抱える課題を認識し、課題解決への関心を高めた学生が、専門的な知識や技術など大学での学びの成果を活かして、域学共生の理念に基づき、ボランティア活動を行うコミュニティサービスラーニングを支援するための窓口として、平成28年5月から地域教育研究センターに設置している。

## (1)ボランティア情報受付実績

延べ参加者数:44人

No.	概要	団体名	件数	参加学生数(人)
1	小津高校SSH事業課題研究TA	高知県立高知小津高等学校	1	12
2	小・中学校での学習支援(春季)	津野町教育委員会	1	9
3	小・中学校での学習支援(夏季)	三原村教育委員会	1	中止
4	小・中学校での学習支援	高知市教育委員会	1	11
5	ボランティアガイダンス2022の運営業務	NPO高知市民会議	1	12

### 【包括連携協定】

本協定は、各市町村や企業・NPO法人等の団体と本学が多様な分野で緊密な協力関係を築き、持続・発展的に連携を深めることにより、未来を担う人材の育成や活力ある地域社会の形成・発展に寄与することを目的とする。

協定締結団体との連携

No.	団体名	事業名	期間等	概要	参加者等
1	高知市	学習支援ボランティア	月曜から金曜、 夏期・冬期の休業中	高知市の小・中学校へ学習支援の学生ボランティア募集、取りまとめと高知市との調整を行った。	本学学生 延べ233人
2	三原村	学習支援ボランティア	令和4年8月29日-9月2日	三原村の小・中学校へ学習支援の学生ボランティア募集、取りまとめと三原村との調整を行った。	中止
3	NPO高知市民会議	ボランティアガイダンス2022	令和4年11月13日	ボランティアガイダンス当日の会場設営や受付、司会などの運営業務を行った。	本学学生 12人
4	津野町	学習支援ボランティア	令和5年2月20日-2月24日 令和5年2月27日-3月3日	津野町の小・中学校へ学習支援や学校支援業務の学生ボランティア募集、取りまとめと津野町との調整を行った。	本学学生 延べ12人

### 【協力団体との連携強化に向けた取り組み】

さらなる連携の強化に向けて、高知県や市町村、学生受入団体等との情報交換を定期的に行っている。

(1) 開催実績

No.	会議名	実施日	概要	対象	出席者数(人)
1	連携推進会議	令和4年10月13日	地域教育研究センター及び健康長寿センターと自治体との連携事例について報告を行い、「集落活動調査の結果と本学との連携」をテーマに、出席者との情報共有や意見交換を行った。	包括連携協定を締結している 県内7市町村	32